FinePlay!!

～ 互 い に 助 け 合 う 集 団 に ～

豊中市立第五中学校
第３学年 ６５期 No.3
2018年４月１１日（水）

離任式がありました

10 日（火）この春、五中を離任された先生方から最後のお話がありました。クラスや教科、クラブ活動など様々なところでお世話になった先生方からお話を聞きましたが、しっかり話を聴いている人が多かったです。お話の一部ですが載せたいと思います。

麻植先生≫≫≫たまたま同じ区域に住んでいることから出会った仲間。「たまたま」が偶然重なったことで同じ学年、同じクラスになった仲間。五中が長年受け継いできた「いのち・とき・なかま」の精神を大切にほしいです。

大河内先生≫≫≫５０人もの人々の命が一瞬にして奪われる悲惨な出来事が、今世の中では起きています。「５０人」という数－自分の周りをみて感じてみてください。一人ひとりの命には、大切な友だちや家族がいます。今という一瞬、一瞬を一生懸命に過ごしてほしいです。

木田先生≫≫≫皆さんには「無限の可能性」があります。がんばってください。

辻本先生≫≫≫自分の将来のことを少し考えてみる ― 中学校生活３年間があなたの人生に与える影響は大きいものです。自分のことについて、仲間のことについて意識することを大切に。

為季先生≫≫≫今そばにいる仲間は偶然同じ区域に住んでいるから出会ったメンバー。このメンバーだからこそできることがあるはず。たがいに力を出し合える集団、みんなにしかできない学年・五中を創り上げていってほしい。

山岡先生≫≫≫３年生へ･･･この一年間、自分がクラスとどう向き合うかということが、自分の進路に深く関わってくる。学校生活でのすべてが未来への第一歩になる。

門戸先生≫≫≫「美術のいいところを伝えたい」という思いで、五中では楽しく授業をさせていただきました。美術のいいところは「人と違うところを認め合う」ということです。

中先生≫≫≫「一人も残さず最後の一人まで」という思いで、毎年卒業生を送ってきました。でも今回は自分が離れる立場となり寂しく思っています。当たり前にやっていることにも必ず終わりがあります。だからこそ、日々の生活を大切にしてほしいです。

亀田先生≫≫≫自分が話すことばによって、相手の言動は変わります。クラスの仲間、学年の仲間とよい関係を築いていってほしいです。

宮本先生≫≫≫「私と小鳥と鈴と」　金子みすゞ

私が両手をひろげても　お空はちっとも飛べないが
飛べる小鳥は私のやうに　地面を速くは走れない
私がからだをゆすっても　きれいな音は出ないけど
あの鳴る鈴は私のやうに　たくさんな唄は知らないよ
鈴と　小鳥と　それから私　みんなちがって、みんないい